

これからの公共施設のあり方に関する市民説明会

【開催結果】

1. 参加人数

開催回	開催日時	参加者	アンケート回答者
第 1 回	平成 29 年 10 月 26 日 14:00	38 名	30 名
第 2 回	平成 29 年 10 月 26 日 19:00	14 名	10 名
第 3 回	平成 29 年 10 月 28 日 19:00	11 名	12 名※

※第 3 回については、アンケート回答のみ 1 名

2. 説明概要

- ・国の動向
- ・木更津市の現状
- ・公共施設マネジメントの取り組み
- ・公共施設再配置計画の概要
- ・今後のスケジュール

3. 当日出されたご意見等

【計画策定について】

- ・施設の再配置計画は、本来はまちづくりの観点から市民の意見を聞き、その意見を取り入れて練っていくものだと思う。再編の必要性は理解できたので、今後は、十分に市民の意見を聞く場を設けて良いまちづくりを考えてもらいたい。
- ・市が策定する様々な計画は、いつも決定後に市民へ知らせている。計画を作る段階で市民の意見を取り入れながら作るようにしてもらいたい。
- ・行政改革はどこまでやるかに気をつけなければいけない。何でも削減してしまうと、住民を苦しめることになりかねない。
- ・木更津市の将来人口は微減のようだが、公共施設は 26 パーセントも削減しなければならないとされている。そこまで削減しなければならないのか。公園の土地の売却も検討するのか。
- ・今回の計画は、全国的に同じ課題があり、それを解決するための標準的な計画であると感じる。しかし、もっと考えるべきなのは、今ある施設をいかにお金をかけずに長く利用するかだと思う。今ある施設の魅力を無くさないようにすることも大事だと思う。
- ・少子高齢化の時代において、行政改革を進めていかなければならないと感じている。
- ・施設の再編は、総論ではなく、各論の話を詰めていかなければならないと思う。

- ・各施設の担当課が、施設のビジョンや機能維持について、市民の意見を聞き、議論した上で方向性を定め、行政改革推進室に要求するような体制を作らなければ、このような説明会を行っても、担当課のビジョンが見えてこない。

【説明会について】

- ・説明会に参加している住民の数が少ない。今後も多くの意見を聞くような体制を続けてもらいたい。
- ・様々な説明会や会議があると思うが、当日に資料を配るのではなく、事前に配布して欲しい。
- ・本日の説明会には行政改革推進室の職員しか来ていないが、市民としては担当課の意見も聞きたい。

【施設全般について】

- ・公共施設利用ニーズを把握することは非常に難しいと思うが、どのように行う予定なのか。
- ・施設がどこに在るかなど熟知している市民は少ないのではないか。
- ・公共施設をもっと削減して、民間施設の利用を勧めて、補助を出すような形も検討してはどうか。
- ・公共施設は、特定の人だけが利益を得ることのないようにしてもらいたい。
- ・今後、様々な複合施設を作るのであれば、図書室を作って図書の寄付を募りボランティアで運営するなど、多くの人がたくさん文化などに触れることのできる社会を作ってもらいたい。
- ・公民館や学校は避難所に指定されていると思うが、災害時の避難場所の確保については、どのように考えているのか。

【施設の整備方法等について】

- ・民間活力の導入について、民間事業者は採算の取れないものは無くしていくので注意すべき。
- ・施設の老朽化に備えて計画的に資金を貯めておく考えは無かったのか。
- ・PFI 手法は、一時的に多額の資金がかからず、平準化して支払えるメリットがあるが、維持管理や運営に支払う金額を長く払うことになり、財政の硬直化をもたらすので、しっかり考えて選択すべき。

【公民館について】

- ・公民館は社会教育の場であるので、無料で利用できるものだと思うが、なぜ有料化の判断をしたのか。近隣の市の状況はどうなのか。近隣市との均衡は考えないのか。
- ・公民館有料化について、使用料は決まっているのか。金額によっては、継続できないサークルも出てくるのではないか。
- ・公民館は、コミュニティ形成のうえで重要な拠点であると思う。有料化は残念に思う。
- ・公民館の8地区を基本にした統合というのは、各地区に1公民館ということか。
- ・今後、高齢者が増えるなか、公民館が少なくなると通えなくなる人も多くなるのではないか。
- ・公民館の集約は残念に思う。今後高齢化がさらに進んでいく中で、高齢者が健康的で生きがいを持って生活するために必要な公民館は、他の施設と同様の26%削減とはしないほうが良いと思う。

- ・公民館の利用率が低いということであるが、どのような計算をしたのか。
- ・公民館の事業には参加したこともあるが、行政の会議に参加しているような人ばかりが参加しており、一般の参加者が非常に少ない。
- ・普段、公民館を利用する人は、ごく少人数の同じ人であるので、17箇所も公民館は必要ないと思う。その代わりに、公民館を削減して浮いた経費を町内会などに分担して、地域活動が活発になるような支援を考えてもらいたい。
- ・公民館を個人で利用しようとしたが断られた。個人利用で講座の開催ができるようにして欲しい。
- ・中央公民館は利用率が高いと思う。そのような状況で耐震改修をしない判断をなぜしたのか。
- ・中央公民館の仮移転はどこになるのか。
- ・中央公民館を仮移転させることは必要である。現在の中央公民館が立っている場所は、蓮田であり地盤が悪い。千葉県東方沖地震のときかなり痛みが出ている。災害時の避難所になっているところであり早急に建て替えをすべき。
- ・将来的に中央公民館を第一中学校と複合すると言っても、学校運営と公民館運営がうまくいくのか疑問である。

【個別施設について】

- ・市民会館の休館によって寂しい思いをしていたが、中規模ホールの建設について嬉しく思う。
- ・市民会館の休館によって市民は、近隣市のホールを使用しており不便である。耐震改修などで早く開館して欲しい。
- ・市民会館の整備について要望が多いとのことだが、定員 500 人ほどの規模とする理由は。
- ・給食センターについては、他の事例をみても、センター方式にすると必ず給食の質が低下するので、自校式給食を今後も工夫して続けるべきだと思う。
- ・原則、新規の施設は建設しないとしているが、学校給食センターの建設は計画するとしている。整合性があるのか。
- ・小中一貫校を進めれば、給食センターのメリットが上がるのでは。
- ・新庁舎の建設場所も再検討することだが、木更津駅前駐車場の位置に庁舎を建設して駅と繋いだものにすれば違った景色となるのではないか。駅前に建設する際は、将来的にインターネットなどが発展すればそれほど大きな規模でなくても良い可能性もあるので、検討の余地があるのではないか。
- ・図書館が少ないと思う。
- ・空き家対策を進めていく中で、公営住宅の必要性はあるのか。
- ・保育園の民営化について、保育レベルを保つには公営で在るべきではないのか。
- ・消防本部庁舎の建替えについて、建設場所が海に近く、大きな水害の際には消防機能が機能しなくなる恐れがあるのではないか。
- ・市営野球場は、硬式が使用できないなど利用者の規格に合っていない。また、各地域にあるわけではないため、野球の練習をしたい子どもたちにとっても利便性が悪い。このような施設は、全市

民にとっては利用価値が低いと思うため中期的と言わず、短期で廃止すべき。そして、ニーズにあった施設を1箇所作ることが良いと思う。

- ・火葬場の建設について、地元への説明が足りないのではないか。近接する住民への説明を後回しにするようなことの無いようにしてもらいたい。